

# 40人学級編成は時代遅れ、35人学級へ前進を！ - 中国地方4県ではすでに35人学級実施へ -



日本共産党  
市議会議員団  
週刊議会報告  
【発行】  
岡野長寿  
(0845-22-2596)  
三浦とおる  
(0848-48-5044)

## 中国地方5県の35人学級実施状況

	小学校						中学校		
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	1年	2年	3年
鳥取	30	30	35	35	35	35	35	35	35
島根	30	30	35	35	35	35	35	35	35
岡山	35	35	35	35	35	35	35	35	35
広島	35	35	40	40	40	40	40	40	40
山口	30	35	35	35	35	35	35	35	35

## 1クラス35人以上の割合（尾道市）

規模	1学級	2学級	3学級	4学級
%	0%	9.3%	21.7%	25.0%

上のクラスは0%であり、学校規模が大きくないほど、その割合が高くなっていることが明らかになりました。岡野市議は、教育を受ける権利の充足という観点から、他の市町ではあり得る35人学級へ（上表参照）改善せよと迫ります。

岡野市議の調査によると、（左下の表）1学年1クラスの小規模校では35人以上のクラスは0%

- 一般質問の項目
- 35人学級
  - 本四高速料金
  - 公園へトイレを

### 岡野長寿市議

上表の3項目は、質問を行いたい。35人学級は、先生に質問しようとしてもできる状況ではない。教師の目が行き届かないなどです。大規模校のPTAからは市独自にクラス編成基準を改善し、先生を増やして欲しいという要望が出されています。

日本共産党議員団は、9月6日（金曜）午後1時から岡野長寿市議が、午後1時30分頃から、三浦とおる市議が一般質問を行う予定です。その概要をお知らせします。

クラスがあるなど、先生の負担が多く、様々な問題が起こっています。先生に質問しようとしてもできる状況ではない。教師の目が行き届かないなどです。大規模校のPTAからは市独自にクラス編成基準を改善し、先生を増やして欲しいという要望が出されています。

- 一般質問の項目
- 幼児教育無償化について
  - 特別支援教育支援員の増員について

### 三浦とおる市議

三浦市議は、上記の2項目の質問をいたします。一つ目は、幼児教育無償化について、満3歳児の保育認定（保育園）の幼児と教育認定（幼稚園）の幼児には、この法案では、無償化の時期が違って、無償化の時期が違って、制度の改善を求めたいと思います。また、幼稚園や認定こども園に通っている場合の「預かり保育」での時間外保育料に生じないのかを質問していきます。二つ目は、尾道市内の小中学校に在籍している「個別のニーズ」の必要な児童・生徒に対しての特別支援教育のあり方について質問していきます。三浦市議の調査したところ、市内の小中学校に在籍して特別支援学級等で学習をしている児童・生徒数は増加傾向にあり、特に「自閉症・情緒障害特別支援学級」では、1学級の中に3学年以上の複式学級で学習をしている現状があることを明らかにして、教育を平等に受ける権利の観点から「個別のニーズ」の必要とする子どもたちのために特別支援教育支援員の増員配置は不可欠であると迫ります。

## 原発は「現実的で切迫した危険」！ — 樋口さん（元福井地裁裁判長）が講演 —



市民2百数十名が聴き入った「樋口講演会」

8月25日（日曜）総合福祉センターで「わたしが大飯原発を止めたい」と題し、樋口英明さんの講演会が行われ（主催：フクシマから考える一歩の会）議員団も参加しました。

前提として原発は水を熱して蒸気をつくりタービンを回して電気をつくる、熱源が火力か原子力かの違いがあるだけで極めて単純な原理によることを説明した後、問題は何かあった場合、止めることができて、冷やし続けることが容易でなく、電源が失われただけで事故故になつてしまふ。他の技術の多くが運転の停止という単純な操作によつて被害の拡大が除去されるのとは異なる原子力発電に内在する本質的な危険を指摘。世界で起きる地震の10分の1が日本列島で起こつている事実（4つのプレートの上）に日本列島があるから、原発の危険は現実的切迫した危険と評価できると喝破。

市政要求報告懇談会に参加をお願いします  
8月31日（土）日比崎公民館にて  
午後7時から 8時30分まで